



いちかわみさと

議会だより

第47号

2017年5月1日発行



● 開通式を盛り上げたジュニアコーラスいちかわと三珠歌舞伎太鼓

平成29年 3月定例会 第1回臨時会

● 平成29年度当初予算	2~3
● 規約の変更・条例の改正・廃止	4
● 平成28年度一般会計補正予算・臨時会	5
● 常任委員会報告・モニター	6~7
● 組合議会の報告	8
● 一般質問6議員 町政を問う	9~14
● 討論・審議結果・人事	15
● みんなのページ	16

91億8,446万円

●特別会計(61億4,735万円)を含めた
総額(153億3,181万円)の状況

会計名	平成29年度予算額・構成比	平成28年度予算	前年度比(金額・増減率)
一般会計	91億8,446万円 59.90%	85億2,781万円	6億5,665万円 7.70%
国民健康保険【事業勘定】	23億7,506万円 15.49%	24億2,788万円	△5,282万円 △2.18%
国民健康保険【直営診療施設勘定】	7,711万円 0.50%	7,706万円	5万円 0.06%
介護保険	20億7,466万円 13.53%	20億5,396万円	2,071万円 1.01%
訪問看護ステーション西八代	3,264万円 0.21%	2,931万円	333万円 11.35%
簡易水道事業	2億4,648万円 1.61%	3億3,771万円	△9,123万円 △27.01%
公共下水道事業	9億9,304万円 6.48%	9億9,990万円	△686万円 △0.69%
農業集落排水事業	3,557万円 0.23%	3,414万円	143万円 4.17%
温泉事業	3,719万円 0.24%	5,873万円	△2,154万円 △36.67%
歌舞伎文化公園管理	2,308万円 0.15%	2,554万円	△246万円 △9.64%
後期高齢者医療	2億2,673万円 1.48%	2億1,803万円	870万円 3.99%
その他	2,579万円 0.18%	2,206万円	373万円 16.90%
特別会計合計	61億4,735万円 40.10%	62億8,433万円	△1億3,698万円 △2.18%
合計	153億3,181万円 100%	148億1,213万円	5億1,967万円 3.51%

主な新規事業

予算額

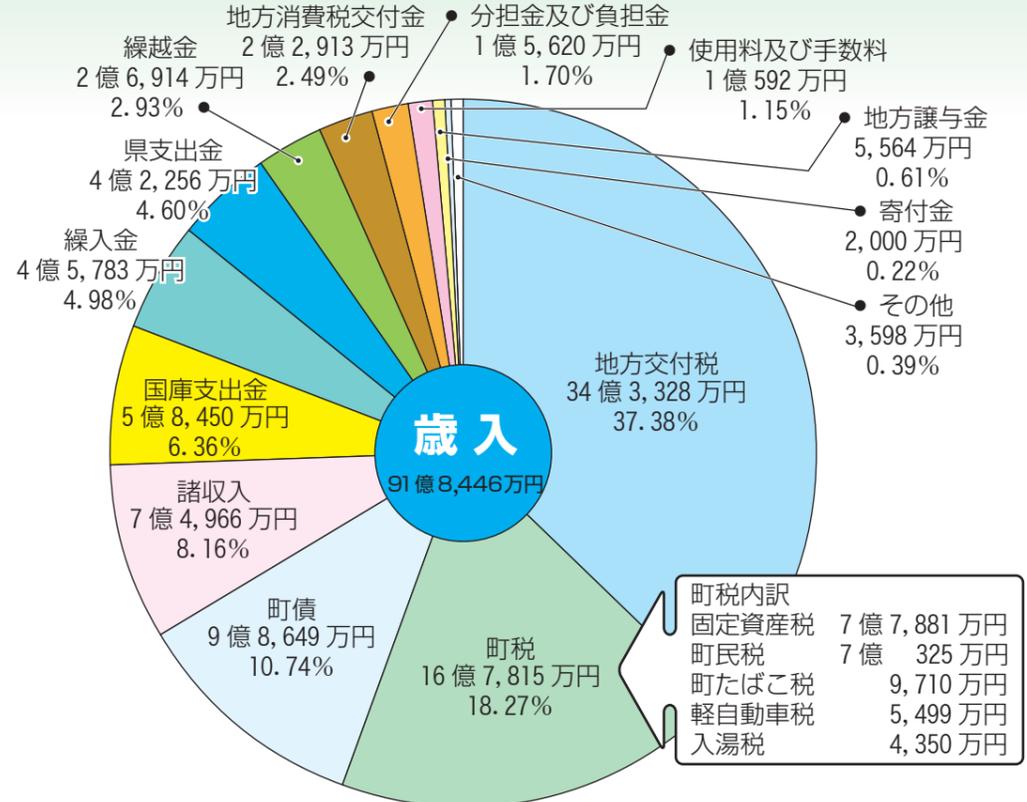
新施設整備事業	2億9,497万円
じどうかん学童クラブ仮施設設置事業	1,617万円
日向山1号線・2号線改良事業	1,400万円
町長選挙事業	1,251万円
障害者自立支援拠点整備事業	1,200万円
岩間御幸道路5号線拡幅事業	1,042万円
水道施設整備計画基礎調査事業	647万円
自治体情報セキュリティ強化対策事業	492万円
三帳集会所修繕事業	456万円
防災備蓄倉庫設置事業	431万円
土木整備資材倉庫新設事業	431万円
防災カメラシステム更新事業	389万円
空き家等対策事業	352万円
総合グラウンドトイレ下水道切替事業	301万円
下大鳥居ほ場内水量検討基本設計事業	300万円
桃林橋団地空家解体事業	263万円

主な継続事業

予算額

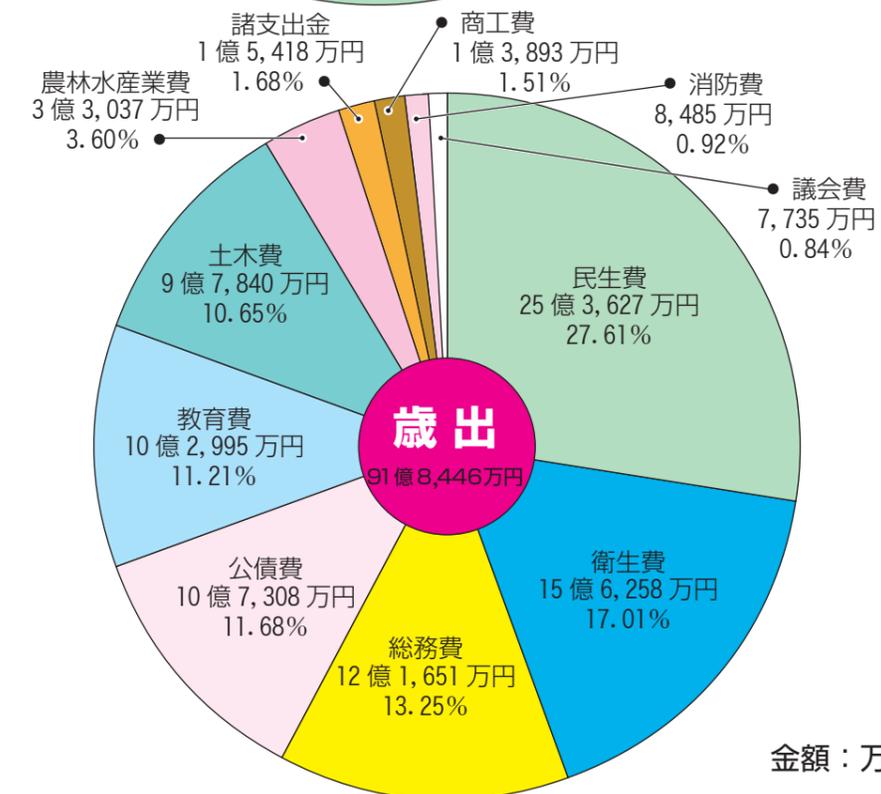
峡南医療センター負担金	2億7,566万円
町道矢作上野線新設改良事業	1億7,244万円
つむぎの湯・いきいきセンター事業	8,729万円
新園舎整備事業	6,912万円
子育て支援医療費助成事業	6,855万円
小中学校少人数学級の推進事業	4,415万円
町道筆鼻川浦線新設改良事業	3,869万円
放課後児童健全育成事業	3,533万円
長寿・医療費給付金事業	3,056万円
県営中山間地域総合整備事業	3,000万円
民間外国語指導者設置事業	2,566万円
ニードスポーツセンター事業	2,526万円
県単土地改良事業	1,870万円
配食サービス事業	1,135万円
ふるさと納税特産品贈呈事業	1,057万円
若者定住促進住宅補助金事業	800万円

前年度比 を可決 7.7%増



町税内訳

固定資産税	7億7,881万円
町民税	7億325万円
町たばこ税	9,710万円
軽自動車税	5,499万円
入湯税	4,350万円



金額：万円未満は四捨五入

平成29年第1回定例会は、3月3日から16日までの14日間にわたり開催されました。今定例会では、条例改正10件、条例廃止1件、平成28年度一般会計・特別会計補正予算13件、平成29年度当初予算17件、「第2次総合計画基本構想及び基本計画」など、44議案が提出されいずれも原案どおり可決、承認されました。また、請願1件は不採択となりました。

一般会計補正予算

規約の変更1件 条例の改正10件 廃止1件

収入支出の補正額は

補正額 △1億4,229万円
総額 95億9,322万円

収入のおもな内訳は

町税	△	2,216万円
県支出金	△	1,032万円
繰入金	△	1億円
繰越金	△	1,975万円
町債	△	2,900万円
国庫支出金		2,245万円
寄付金		1,882万円

おもな使いみち

総務費

ふるさと納税特産品贈呈事業費委託料追加	506万円
退職手当追加	2,457万円
役場組織機構改革事業費	153万円

民生費

国民健康保険特別会計繰出金更正	△5,290万円
臨時福祉給付金追加	4,101万円

土木費

鳴沢川高田地区内水対策工事費追加	919万円
------------------	-------

衛生費

峡南医療センター負担金更正	△1,133万円
簡易水道特別会計繰出金追加	665万円

商工費

温泉事業特別会計繰出金追加	808万円
---------------	-------

- ※繰入金 会計の収支不足を補うために、他の会計や積立金（基金）から充てられる資金。
- ※繰出金 おもに一般会計から特別会計に対して、不足を補うために支出する。
- ※更正 実績などにより経費が少額で済んだ場合、予算を減額すること。



可決 全会一致

平成28年度鳴沢川高田地区内水対策ポンプ設備工事（明許）請負契約の締結について

承認 全会一致

平成28年度一般会計補正予算（第9号）の専決処分につき承認を求めること

2月7日

平成29年 第一回臨時会

条例の改正

- 峡南広域行政組合規約の変更
介護保険における地域密着型サービス事業者に対する指導事務を共同処理することに伴い組合規約を変更するもの。

規約の変更

- 行政組織条例等中改正
企画防災課を企画課に改め、防災課と施設建設課を加える。防災課・・・地域防災防犯に関すること。施設建設課・・・高校再編に伴う施設建設に関すること。
- 職員定数条例中改正
峡南医療センター企業団に派遣している職員の数を職員定数に加えないことができるとするもの。
- 職員の育児休業等に関する条例及び勤務時間、休暇等に関する条例中改正
職員の育児支援・介護支援に係る関係条例を改正するもの。
- 特定個人情報保護条例中改正
マイナンバー法の改正に伴い、情報ネットワークシステムを利用した情報連携を可能とするもの。
- 税条例等中改正
個人住民税における住宅ローン控除制度を2年間延長するもの。

条例の廃止

- ひとり親家族医療費助成に関する条例中改正
児童福祉法の一部改正に伴い、条文を整備改正するもの。
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例中改正
第2階層（町民税非課税世帯）に属する第2子以降（多子世帯）の保育料を無料とするもの。
- 100歳祝金・年金条例中改正
長寿医療費給付金が88歳以上の全ての高齢者を対象としており、100歳年金の給付金を月3万円を月1万5千円にするもの。
- 活動支援センター設置及び管理条例中改正
老朽化している「太陽の家」から元「町営国保診療所医師住宅」に施設を変更するもの。
- 議会委員会条例中改正
常任委員会について変更する必要があるため。
- 敬老祝金支給条例廃止
長寿医療費給付金が88歳以上の全ての高齢者を対象としており、敬老祝金の給付対象者と重複していることから廃止する。



常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務教育

開催日
3/6

行政組織条例等改正

問 新設される防災課と施設建設課の職員の数は。

武田総務課長 防災課は課長、係長、課員2名。施設建設課は、課長、係長3名。新しく企画課ふるさと納税係に、係長、課員を予定している。

若者定住促進住宅事業

問 本年度の申請は何件か。

一瀬企画防災課長 現在まで30件の申込みがある。

ふるさと納税特産品贈呈

問 返礼品は現在何品目あるのか。

企画防災課長 52品目あり、納税者が指定している。現在まで100万円の寄付が2件あり、1件は返礼品辞退。1件は神明の火花に使用させて頂いた。

安全安心対策事業

問 街灯設置費補助金の実績は。何基か。

企画防災課長 72地区436基。約830万円である。

婚活イベント開催委託料

問 実績は。

企画防災課長 4回開催し、14組の実績があった。

教育費新施設整備費

問 予定地は中心部より遠く気軽にいける場所ではない。再考する考えは。

町長 新施設は、5,000㎡以上の面積が必要であり、現施設周辺には見合う用地がない。新しい高校は県下最大規模であり、現在地に残すため必要な用地を提供することになった。色々なことが可能かどうか精一杯取り組んでいく。

土木環境

開催日
3/10

簡易水道特別会計

問 現在の簡易水道会計の借入額は。

海沼生活環境課長 15億4,767万円である。早急に審議会を開催し、水道ビジョンと並行し上水道料金も含め検討して頂く。

自然エネルギー有効活用推進費

問 廃止している自治体もあるが、今後の考えは。

生活環境課長 29年度は当初予算内で行い、30年度は一定の成果を上げたと考え計上しない方向でいる。

有害鳥獣捕獲

問 実績及び確認方法は。

丹沢農林課長 猪40頭、鹿48頭、猿2頭であり、捕獲ナンバーと日付の写真を提出して頂いている。

橋梁点検業務委託料

問 点検済みの箇所数と残りの数、危険性のある橋梁数は。

塩沢土木整備課長 35橋点検済。全体で5m未満が99橋。5m以上が120橋で進捗率は83%である。緊急を要するもので修繕済は、26年度4ヶ所、27年度2ヶ所である。

まちづくり推進費

問 笹鼻川浦線で用地購入費、建物補償費を計上してあるが、進捗が見込める状況なのか。

保坂まちづくり推進課長 今まで交渉に苦慮したところも用地測量に入ることになった。一歩前進と捉え今後取り組んでいく。計画延長933m、うち整備済700mで進捗率75%となる。

厚生常任

開催日
3/8

100歳祝金・年金条例中改正

問 100歳年金の28年度支給対象者は。

一瀬福祉支援課長 28年度3月末まで12人、399万円を予定している。29年度は13人、満額でない方44ヶ月分を予定している。

つむぎの湯、いきいきセンター費

問 28年度利用実績数は。

内藤いきいき健康課長 2月時点の実績数は、6万5,539名。27年度6万9,449名である。

峡南医療センター企業団負担金

問 負担金の総額はいくらか。

いきいき健康課長 1億6,233万3千円である。

国民健康保険特別会計

問 現在の滞納状況は。

武田町民課長 未納金は1億1,027万2,447円。徴収率は68%である。

介護保険特別会計

問 現在、特別介護老人ホームの待機者数は。

福祉支援課長 自宅待機者数は139名である。

地域活動支援センター委託

問 何件の応募があり、委託先は。

福祉支援課長 3社の応募があり、提案型審査によりNPO法人「ここね会ほこあぼこ」に決定した。



《モニター通信より》

第46号についてモニターの皆様からいただいた主なご意見です。

- 表紙にて出初式を盛り上げる裏方側に目線を向けた写真、とても良いと思います。
- 出初式シリーズで、つづけて見たいです。
- 読み易く説明されています。ポイントの花で一面が明るく見えます。
- 項目による文字の使い分けで、見易い画面になっている。文字の大きさも見やすく良い。
- 常任委員会の質疑等が分かりやすく説明してあり良いと思います。
- 行ごとに色分けしているので、細かい字を読むのが助かりました。
- 改正された条例の説明を詳しく掲載されたい。
- 組合議会報告で、報告者の写真を掲載したらどうか。

市川大門町民会館・図書館・体育館の移設に伴う対応は

— 瀬 正 議員



— 工事中は他の既存施設を活用 —

問 施設利用者ごとの施設を提供するののか。

町長 町民会館の利用は、地区公民館等への振り替え利用を計画。町立図書館は、三珠・六郷分館の利用を考えている。体育館は、町内小中学校施設の利用を予定している。

問 富士見保育所敷地内にある学童保育所は、移転しても使用は可能か。

町長 放課後児童クラブは、施設を継続利用する予定である。

問 現在町民会館にある、市川大門地区のじどうかん学童クラブは、どのように考えているののか。

町長 (仮称)町立生涯学習センター・町立図書館建設検討委員会で検討しているが、状況においては、他の候補地も検討する。

問 中央通りの一方通行の解除と中心街振興策はどの様に考えているののか。

町長 一方通行の解除は、商店街・商工会と連携し活性化の検討会をさらに進め



市川大門地区じどうかん

中巨摩地区
広域事務組合

峡南医療センター
企業団

山梨県後期高齢者
医療広域連合議会

12月定例会 12月28日

第1回定例会 2月27日

第1回定例会 2月17日

提出案件は、平成28年度中巨摩地区広域事務組合一般会計予算(第2号)、ごみ処理事業特別会計補正予算(第3号)勤労青年センター事業別特別会計補正予算(第1号)の3案件で、原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算では、17万円を職員手当と需用費に追加。

勤労青年センター事業特別会計補正予算88万5千円は、管理研修棟給水管理施設工事に伴う工事請負費の追加。

ごみ処理事業特別会計補正予算は、387万2千円を追加、人件費と、ごみクレーン法定点検等の委託料です。

(報告者 内田 利明)

提出案件は2件で原案のとおり可決されました。

議案は、峡南医療センター企業団職員の育児休業等に関する条例及び勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正。

平成28年度峡南医療センター企業団会計補正予算(第3号)病院事業収益を、1,225万4千円減額は、交付税確定等によるものです。

病院事業資本的収入及び支出を3,593万円減額。

介護老人保健施設事業資本的収入及び支出を57万4千円の減額は、事業費確定によるものです。

(報告者 松野 清貴)

提出案件は、条例の一部改正と、平成28年度補正予算2件、平成29年度当初予算2件であり、いずれも原案のとおり可決されました。

職員の育児休業に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正。

平成29年度予算の内、歳出では保険給付費は988億8,926万円で、前年度より20億3,877万円の増となりました。増額の主な要因は、被保険者数が2,700人程度増加する見込みと、医療費の増額によるものです。

(報告者 内藤 優)

ていく。

まちづくり研究会、懇談会等の意見も取り入れ、町の総合的な課題として、取り組んでいく。

問 年末年始における、可燃物収集の改善を。

町長 特別収集日を設けることを検討する。

問 和紙活用のPRと、和紙を使った写真、絵画、人形など芸術展への援助策の推進は。

町長 地域産業資源活用事業を通じて、情報発信に取り組んで行く。

水道事業の現状は

高尾 貫 議員

—— 厳しい現状下において、
早急に審議会を開催する ——

問 水道事業の次の5点について
① 水道料金の見直し改定は。
② 審議会の構成、開催数は。
③ 審議会での検討項目と答申内容は。

④ 簡易水道と上水道の料金改定された年度と、基本料金の推移は。
⑤ 今後の水道ビジョンは。

町長 ① 現状の把握、長寿命化対策、耐震化対策、経営戦略などを見据え、財政状況や受益者負担を勘案し、料金改定を目指していく。

② 町議会議員、受益者、学識経験者などで構成し合併後、延べ22回開催している。

③ 上水道の整備を推進し、事業会計の健全な財政運営を図るため、2度の料金改定を行った。簡易水道との料金統一、上水道事業の統合を検討したが、地域性や社会経

済の情勢を鑑み料金改定を見送った。

④ 平成26年の消費税改定に伴い現料金に改定した。平均水量を25㎡と仮定した場合の8簡易水道料金は、540円から2,450円。上水道料金は2,800円である。

⑤ 水道ビジョンの策定を、29年度より進めていく。

問 大災害に備えた下水道の在り方を再認識しては。

町長 自宅敷地内の配管や、維持・管理・補修に対する周知などは、パンフレット等を用い、説明会もしくは各戸へ訪問説明を行っている。今後は広報などで周知も行っていく。公共下水道については、町下水道総合地震対策計画に基づき事業を進めていく。現在、管渠の耐震化、浮上抑制対策をメインに工事を進めている。



中央簡易水道楠甫配水池



移転が予定されている町施設

問 峡南北部高校再編に伴う町施設移転・建設に関する費用試算はどうか。

町長 現時点での用地代・設計費を含む試算では、新保育所の事業費は約8億円、図書館を併設した(仮称)生涯学習センターが約16億円、体育館が約13億円であり、合計約37億円と見込んでいる。

問 財源はどのように考えているか。

町長 主に合併特例債での対応を予定している。

問 国からの普通交付税が年々減額されるが、今後の推移をどのように見込んでいるか。

町長 町合併から10年間は、合併前の旧市町村ごとに算定される普通交付税額の水準が確保される。平成27年度では、合併後の新町の状態で算定した額との差が7億2,468万4千円であり、この額が合併後10年間は加算されてきた。平成28年度以降は、加算額が5年間年々減額され、6年目(平成33年度)にゼロとなる。

問 県からの支援への要請活動の状況は。

町長 再編高校の現在地への誘致を最重要課題として取組み、面積確保の必要性から近隣町有地を県に提供することとした。三郡橋東詰から三郡東橋東交差点間の県道拡幅などを含め、県からの支援への要請を継続している。

***合併特例債**
合併後の新市町村の公共施設建設などの事業に特例的に起債できる地方債。事業費の95%まで充てることができ、返済額は7割を国が負担する。発行期限は合併から15年。

高校再編に伴う町新施設建設の財源対応は

笠井 雄一 議員

—— 約37億円と見込み、
合併特例債での対応を予定する ——



町長 発行可能枠は82億8,820万円である。平成28年度末での発行額は37億8,950万円と見込んでいる。

問 *合併特例債の発行可能枠と発行済額は。

空き家対策への今後の取組は

丹澤 孝 議員

—— 対策協議会設立や条例制定を行い、
対応計画を策定する ——

問 実態調査結果を踏まえ、空き家等対策の具体化に向けた対策計画の策定が求められる。今後の取組み予定は。

6月に空き家等対策条例を制定し、取組み方針やスケジュールの明確化を図る予定。

問 空き家対策に関する国・県の市町村に対する財政支援制度は。

特別交付税として措置される。

問 町での空き家に関連する現在の助成制度は。また、今後の新たな支援制度の検討予定はあるか。

町長 現在、「*空き家バンク」登録・利用促進事業補助制度を設けている。今後は、実態調査結果を受け、実態に即した効果的な助成制度の創設についても検討する。

問 空き地対策も重要課題である。空き地をどう活用するかについて、「まちづくり」の視点から検討する必要があると思うが。

町長 全町的な重要な問題であると認識している。防火上の観点からも、住宅密集地での空間の確保や狭あい道路対策の必要性もある。計画策定に向け取組みたい。

「空き家バンク」登録・利用促進事業補助金
空き家バンクに登録し、契約が成立した案件に対する保証制度。
①改修工事費（100万円を上限に費用の1/2）
②家財処分費用（上限10万円）。



町長 今年3月末での第一次実態調査完了後、不動産や建築等の専門家を含めた空き家等対策協議会を立ち上げ、対策方針や計画策定に向け協議する。
今後第二次実態調査として、空き家敷地内に踏み込んだより詳細な調査を行い、その成果に基づいた具体的対策計画を策定する。

町長 空き家実態調査の事業費に対し、国1/2、県1/4の補助金がある。町負担分の1/4に対しては、事業費の一部が特別交付金として算入される。また、計画策定、危険空き家除去等費用についても

歌舞伎文化公園と大門碑林公園の現状と今後は

佐野 勝也 議員

—— 満足度向上のための計画を策定し取り組む ——



問 第2次総合計画（案）が示された。町民アンケート結果に、観光の振興で満足度が低調であった。重要度が増しており、町の計画・実行に期待しているが考えはあるか。

町長 大門碑林公園顧問の伊藤滋先生をお招きして拓本ツアーなどの開催。今後、職員が視察で得た情報を基に計画・実行に移していく。

問 商工会との連携や観光施設の改善策はどのように考えているか。

町長 旅行会社に対し本町の魅力をアピールする。碑林公園駐車場の壁面に大型案内板を設置した。引き続き改善・改修を実施していく。

問 大門碑林公園・歌舞伎文化公園の入園・入館料など、障害者や高齢者への割引を考えるべきと思うが。

町長 料金については、難しい課題も多いが検討する。



大門碑林公園内の案内板

問 大門碑林公園と歌舞伎文化公園が近くにあり、ポタンの花、三珠歌舞伎太鼓がある。県内・全国の地方歌舞伎と連携するなど、アイデアを活かしてはどうか。

町長 大門碑林公園、みたまの湯や歌舞伎文化を本町の観光資源として、PRに役立つ施策をしっかりと取り組む。

高校再編に伴う避難所の確保は

宮崎 博巳 議員

隣接の高校施設を利用して

問 市川高校再編に伴い、災害時に890人の多数の方が避難できる、町民会館及び町民体育館が9月から使用できなくなるが、対応は。

答 避難所、耐震性貯水槽等の変更についての、住民説明会はいつ頃行うのか。

問 本町は3つの断層に囲まれて、地震だけでなく多様な災害の発生が想定されるが、備えの強化、対策は。

答 総合戦略の基本目標である町内産業の活性化として、地域資源、自然、歴史、文化、産物のブランド化への、支援、取り組みは。

助金額の見直しをしていく。

伝統産業の手すき和紙、印鑑産業等の後継者育成事業も、継承者としての経験を積み技術を高めていく、仕組みを考えていく。

県観光部と連携、構想に基づいた峡南地域広域での、観光振興に取り組んでいく。

町長 2施設の避難所、福祉避難所の代替は、近隣の市川高校文化創造館、体育館、および格技場を地域防災計画に指定してある。

一瀬企画防災課長 貯水槽については、本庁役場駐車場など、また備蓄倉庫を本庁敷地内に設置することを検討している。

要配慮者への対応、避難生活の多様なケースやニーズなどに対応するため、運営方法や体制作りの擁立に鋭意努力していく。

町長 気象庁で出すすべてのデータを解析し、早め、早めに手を打つ先行型防災により人命を守る必要を感じ、4月から防災課を独立化させ、徹底した防災体制を作る。

町長 農業の6次産業において、大切なことは「品質の安定」「供給量の確保」であり、本年度関係機関との調査を終え、来年度から本町に置き換えた取り組みを行う。

特産品事業拡大および雇用促進事業では、平成28年度は、337万円を補助してきたが、来年度に向け補



討論

◆100歳祝い・年金条例中改正

◆敬老祝金支給条例廃止

◆平成29年度一般会計予算

(賛成) 一瀬 正 議員

100歳以上の高齢者への年金減額、敬老祝金の廃止、広島平和記念式典参加人数削減、危険な場所への保育園舎建設、三郡橋付近への体育館・町民会館・図書館の建設は、町民の願いに反するので反対。

(賛成) 三神貞雄 議員

高齢者の福祉・医療、敬老の精神は町単独事業が複数あり手厚い対応となっている。「高齢者を敬い尊び」の基本理念に基づいて対応している。防災対策を十分に行い、安全安心な新園舎が一日でも早く整備されることを切望する。

賛成14 反対1

請願

◆「町民が利用しやすい場所へ町民会館と図書館の建設を求める請願」の不採択について

(反対) 高尾 貫 議員

町の活性化を願い、生徒・学生・全町民が利用しやすい場所へ建設再考を求める。町民・利用者から多くの署名が集められ提出。

町民会館は現在地周辺に、図書館は学校の近くに建設を求め、「請願の不採択」に反対。

審議結果 第1回定例会(3月3日~16日)

条例の一部改正	結果	
行政組織条例等中改正	可決	全会一致
職員定数条例中改正	可決	全会一致
職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正	可決	全会一致
特定個人情報保護条例中改正	可決	全会一致
税条例等中改正	可決	全会一致
ひとり親家庭医療費助成に関する条例中改正	可決	全会一致
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例中改正	可決	全会一致
100歳祝い・年金条例中改正	可決	賛成多数
地域活動支援センター設置及び管理条例中改正	可決	全会一致
議会委員会条例中改正	可決	全会一致
条例の廃止	結果	
敬老祝金支給条例廃止	可決	賛成多数
補正予算(一般会計・特別会計)	結果	
平成28年度一般会計補正予算(第10号)(第11号)	可決	全会一致
平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	全会一致
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決	全会一致
平成28年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
平成28年度訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第3号)	可決	全会一致
平成28年度簡易水道特別会計補正予算(第7号)	可決	全会一致
平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)	可決	全会一致
平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
平成28年度戸別浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
平成28年度温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
平成28年度歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第3号)	可決	全会一致
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決	全会一致
当初予算(一般会計・特別会計)	結果	
平成29年度一般会計予算	可決	賛成多数
平成29年度国民健康保険特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度介護保険特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度介護サービス事業特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度訪問看護ステーション西八代特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度簡易水道特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度公共下水道事業特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度戸別浄化槽整備推進事業特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度温泉事業特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度恩賜県有財産保護管理事業特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度市川財産区特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度高田財産区特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度大同財産区特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度歌舞伎文化公園管理特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	全会一致
平成29年度上水道事業会計予算	可決	全会一致
その他議案	結果	
峡南広域行政組合規約の変更	可決	全会一致
第2次総合計画基本構想及び基本計画	可決	全会一致
27鳴沢川高田地区内水対策ポンプ設備工事請負変更契約の締結	可決	全会一致

(反対) 一瀬 正 議員

市川大門町民会館は、六郷・三珠地区の中央公民館、図書館と同様に、市川地区の公民館と図書館である。その公民館と図書館が三郡橋の近くへ移設されたら、お年寄りや子どもは行けなくなる。市川地区中心部へ町民会館、図書館の建設を求め「請願不採択」に反対。

(賛成) 松野清貴 議員

現在地付近及び市川地区中心部には、必要とする面積確保が難しい。一日も早く新施設の建設に着手するため現予定地と考へ「請願の不採択」に賛成。

賛成12 反対3

人事

日向山恩賜県有財産保護組合 議会議員

北村 晴一氏(下芦川)

北村 晴一氏(下芦川)

有泉 正臣氏(中山)

河野 誠氏(下芦川)

渡邊 正明氏(三帳)

石原 欣也氏(高萩)

内藤 章一氏(高萩)

石原 聖氏(中山)

西口向外三山恩賜県有財産保護組合 議会議員

北村 晴一氏(下芦川)

有泉 正臣氏(中山)

河野 誠氏(下芦川)

渡邊 正明氏(三帳)

石原 欣也氏(高萩)

内藤 章一氏(高萩)

議会傍聴におでかけください
 次回定例会は6月に予定されています。

傍聴の定員
 本会議30人 委員会8人

◆3月定例会の傍聴実績(のべ人数)
 本会議 40人 委員会 13人

◆会議録検索システム利用件数
 平成29年1月から3月まで 903件

◆お問い合わせ
 議会事務局 TEL 055-272-1108

みんなのページ



F.C テクニカル・スポーツは、クラブ設立以来、今年で25年目となり、市川三郷町を中心に市川総合グラウンドや、市川高校グラウンドを利用して活動しています。

現在、在籍しているクラブ員は、日本サッカー協会に選手登録をしているジュニアチーム（小学生）55名のほか、ジュニアユースチーム（中学生）11名、さらに園児も数名入会しています。



他チームとの交流も積極的に行っており、チームで所有しているバスを利用しながら、練習試合や県外遠征も数多く実施しています。

私たちは、サッカーを通じて“良い仲間づくり”をチームの一番の目標として日々様々な活動を行っています。クラブ員も随時募集しておりますので、少しでも興味をお持ちの方は、練習（毎週月曜、木曜の夜7時から実施）の様子を是非見に来てください。

F.C テクニカル・スポーツ



編集後記

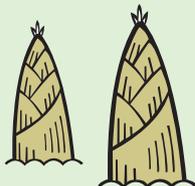
中部横断自動車道六郷インターチェンジが、3月19日午後3時より供用開始となりました。未開通部分も2年後には、全線開通の予定です。

この季節は卒業式、入学式、入社など、希望に満ちた日々が、慌ただしく過ぎ去ってゆきました。

「薫風」が新緑の間を吹き抜ける心地よい風の中、蛭ヶ岳、四尾連湖周辺は、タラの芽・露・竹の子など、山菜採りが楽しめる山々が連なっています。5月の新緑を大いに楽しみましょう。

新年度を迎え、広報特別委員会も町民の皆様へ親しまれる広報誌を目指し、引き続き努力してまいります。

（高尾記）



議会広報編集特別委員会

- 委員長 高尾 貫
- 副委員長 佐野 勝一
- 委員 小川 好孝
- 委員 丹澤 充朗
- 委員 市川 朝嗣

市川 朝嗣
丹澤 充朗
小川 好孝
佐野 勝一
高尾 貫